

笑顔かがやく光っ子

みんなで育てる光っ子

学校便り

第318号
平成25年11月1日

練馬区立光が丘第八小学校
校長 鈴木 隆志

それぞれの秋

校長 鈴木 隆志

学校の周りのカシやシイ、コナラ、クヌギの木々が、今年もたくさんのドングリを実らせました。10月21日（月）から第二学期が始まり、光っ子たちは新たなめあてを立て、意欲的に学校生活を送っています。実りの秋を迎えます。それぞれの背中を押してあげたい、そんな気持ちでいます。

■食の秋

光っ子たちの夏休み自由研究の中に、『食』に関するものがたくさんありました。「やさいのしゅうかく」（1年・ARさん）、「カッターチーズをつくろう」（1年・OHさん、3年・ORくん）、「クレープづくり」（1年・KSさん）、「わたしのおかお（パン作り）」（2年・KHさん）、「流しそうめんができるまで」（2年・HSくん）、「チーズケーキの作り方」（2年・HMさん）、「野さいのうきしずみの実けん」（3年・SYくん）、「夏のりょう理レシピノート」（3年・TOさん）、「食品サンプル」（3年・MMさん）、「家族の夜ごはん作り」（4年・KHくん）、「大連の市場」（4年・KRくん）、「かいわれ大根・ブロッコリー・豆苗の発芽」（5年・KMさん）、「いわしのかば焼き」（6年・TIさん）と、各学年それぞれの自由研究でした。夏休みに限らず、普段からおうちの人と一緒に調理に挑戦するのもよいことだと思います。

■読書の秋

今年度は、八小の図書室に、野口さん、川端さんお二人の学校図書館管理員が配置されています。図書室整備や本の修繕だけでなく、特設コーナーづくり、本選びのアドバイス、調べ学習の支援等、光っ子たちとも直接関わりながら、読書活動推進の一助となっています。お陰様で、読書好きの子が増えたように感じています。また、10月の読書旬間では、光が丘図書館の方々による読み聞かせやブックトークを行いました。「おはなしポケット」の皆さんによる読み聞かせも毎月実施しています。各クラスでの読み聞かせも始まりました。縦割り班の光っ子活動では、6年生が読み聞かせを行いました。本は心のビタミンです。たくさん本を読んで、豊かな心を育てほしいと願っています。

■スポーツの秋

10月12日から14日まで、全国障害者スポーツ大会が東京で開かれました。様々な障害のあるアスリートたち約3300人が、30の競技で熱戦を繰り広げました。都立光が丘公園野球場でも、ソフトボール、フットベースボールの競技が行われました。光っ子たちの中にも、応援に行った子がいました。私も、陸上競技を応援し閉会式に参加してきました。アスリートたちのひたむきな姿からたくさんの感動をいただくことができました。

11月1日（金）、わかば学級の子供たちが区内の特別支援学級の仲間たちとともに、15校合同運動会に出場します。八小の運動会でも大活躍を見せたわかばっ子たちです。合同運動会での活躍も期待しています。

■芸術の秋

11月22日（金）・23日（土）は学芸会です。それに先立ち、10月15日（火）には劇集団デルソールをお迎えし、演劇鑑賞教室を行いました。光っ子たちは、夢中になって団員の皆さんとのコミュニケーションを楽しんでいました。学芸会では自分たちが表現者となります。みんなが主役の学芸会です。豊かな表現力を身に付け、表現する喜びを存分に味わってほしいと願っています。

1年生の廊下に、図工の作品『〇〇するぞう』の絵が掲示されていました。光っ子たち一人一人にとって、実りの秋となるよう、それぞれの思いを大切に紡いでいきます。